

開発途上国の街を訪れる際には、地図には載っていない、街に住む人々の生活を支える日本の協力についても、ぜひ事前に調べてみて下さい。旅がさらに楽しくなること間違いなしです。街づくりというと、道路や橋、水道、学校などが最初に思い浮かびますが、日本の専門家やボランティアは、本号で紹介した都市計画づくりや公共サービスを人々に提供し続けるため、長年、人材育成にも取り組んできました。

私が赴任していたフィリピンのマニラ首都圏は、約1288万人が住む大都市圏ですが、中心部を流れるパシグ川とマリキナ川は、雨期、特に台風が発生する9～10月にしばしば氾濫し、住民を苦しめてきました。JICAは洪水被害を減らすため、1970年代から河川の護岸や排水ポンプ場、洪水予警報システムなどのインフラを整備し、それらを支える人づくりに協力しています。

私はマニラ勤務当時、JICAの協力で整備した洪水予警報システムを30年間守り続けてきた女性に出会いました。今年6月、マニラ首都圏開発庁を退職したエマさんことマキシア・キャンバオさんです。記録的な台風や豪雨でシステム自体が故障したり、ポンプが雨水を排水しきれなくなったりして、彼女は住民から非難を浴びることもありました。しかし、日本の技術者から受け継いだことを着実にやり、洪水被害を減らしたい一心で予算を工面して部下を育てながらシステムを守り、洪水被害の軽減に貢献してきました。JICAはエマさんの長年の功績をたたえ、今年10月にJICA国際協力感謝賞を贈りました。

あなたの旅先の街にも、地図に載らない協力の成果として、人々の生活を支える功労者がいるかもしれませんね。

JICA広報室報道課 竹田幸子

## 本誌へのご意見・ご感想や JICAへのご質問を お寄せください。

プレゼント  
付き

添付のアンケートはがき、Eメール、FAXから、本誌に対するご意見やご感想、またJICAへのご質問を、氏名・住所・電話番号・職業・年齢・性別・ご希望のプレゼントを明記の上、お送りください。ご記入いただいた個人情報は統計処理およびプレゼント発送以外の目的で使用いたしません。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

◎応募締切：2016年12月15日

Eメール：jica@idj.co.jp  
FAX：03-3221-5584（『mundi』編集部宛）

- ① 東ティモールのコーヒー
- ② 書籍『持続する情熱  
完全保存版 青年海外協力隊50年の軌跡』（p37参照）
- ③ 書籍『カレー・バイブル』（p37参照）



①



②



③

本誌をご希望の場合は  
下記方法で  
お申し込みください。

### 申込方法

本誌をご希望の方には、送料をご負担いただく形で送付いたします。巻末の払込取扱票に、氏名・住所・電話番号・ご希望の送付期間・送付開始月を明記の上、指定の金額を郵便局でお支払いください。入金の確認後、発送を手配いたします（入金から1週間程度かかることもありますのでご了承ください）。複数冊、またはバックナンバーをご希望の方は送料が異なりますので、下記までお問い合わせください。

申込先 (株)国際開発ジャーナル社 総務部(発送代行)  
住所 〒102-0083 東京都千代田区麹町3-2-4 麹町HFビル9F  
TEL 03-3221-5583  
FAX 03-3221-5584  
Eメール order@idj.co.jp



次号予告 (2016年12月1日発行予定)

## 国際緊急援助

災害や感染症など、さまざまな危機への対応が求められる昨今。来年、設立30周年を迎える日本の国際緊急援助隊は、高水準の援助能力と関係組織との協力を強みに世界各地で支援を行ってきました。活動を支える協力体制や「人」、訓練の様子などをご紹介します。

**mundi**

NOVEMBER 2016 No.38

編集・発行／独立行政法人 国際協力機構 Japan International Cooperation Agency : JICA

〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル  
TEL : 03-5226-9781 FAX : 03-5226-6396 URL : <http://www.jica.go.jp/>  
バックナンバーはJICAホームページ (<http://www.jica.go.jp/publication/mundi/>) でご覧いただけます。  
本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。